キャラクター名：神斬 無蔵（かみきり むぞう）

プレイヤー名：

シンドローム	エグザイル / エグザイル	**ワークス**	UGNエージェントA	**カヴァー**	フリーター
オプショナル		**年齢**	38	**性別**	男

覚醒	感染	**衝動**	自傷	**初期侵食率**	30 %
出自	権力者の血統	**経験**	汚れ仕事	**邂逅**	家族：神城早月

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	2			7
感覚	2	0	0			2
精神	0	0	1	1		2
社会	2	0	0			2

HP	36
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体 技能	SL	修正	感覚 技能	SL	修正	精神 技能	SL	修正	社会 技能	SL	修正
白兵	5		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：裏社会	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(59)1+2+3「変幻自在の神剣（リベルタ・エスパーダ）」	白兵	9r+5		10		ドッヂ判定ダイス-1個/ｺｽﾄ:7
(59)1+2+3+4「変幻自在の神剣（リベルタ・エスパーダ）」	白兵	9r+5		10		重圧付与:1シーンに1[Lv]回まで使用/ｺｽﾄ:9
(60)1+2+3+4「変幻自在の神剣（リベルタ・エスパーダ）」	白兵	10r+5		10		重圧付与:1シーンに1[Lv]回まで使用/ｺｽﾄ:9
(80)1+2+3+4「変幻自在の神剣（リベルタ・エスパーダ）」	白兵	11r+5		10		重圧付与:1シーンに1[Lv]回まで使用/ｺｽﾄ:9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲： 0　合計回避： 0

所持品	
伸縮性警棒	
コネ：UGN幹部	
コネ：情報屋	
コネ：噂好きの友人	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
半田半蔵	P　信頼	N　食傷		
PC1：獅々戸夏彦	P　庇護	N　嫉妬		
赤染ゆか里	P　信頼	N　食傷		
"グリィズル" 山田餓狼丸(やまだがろうまる)	P　尽力	N　脅威		
トーマス	P　好意	N　嫉妬		
糸守希	P　信頼	N　憐憫		
日々出晴英	P　感服	N　不安		

最大財産P: 6　残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ：ｴｸﾞｻﾞｲﾙ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：C値-Lv(下限7)								
オールレンジ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果：判定のダイス+[Lv]								
爪剣	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	単体	対決	-	
効果：攻+[Lv*2]/ドッヂ判定ダイス-1個								
エンタングル	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	対決	-	
効果：重圧付与/1シーンにLv回まで使用								
餓鬼魂の使い	1	2	ｵｰﾄ	至近	単体	自動	-	
効果：邪毒付与/1シーンにLv回まで使用								
自動触手	5	2	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	-	
効果：ガード時使用/ﾀﾞﾒｰｼﾞ[Lv*3]/1R1回								
異形の歩み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：肉体を変化させて移動可能								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「オーヴァードはオーヴァードを殺すための道具である」

幼少期は妾の子として生まれ、日陰者と扱われていた。
しかしオーヴァードの血を引くものとして、父によりその力を引き出される。
10代の頃はUGNチルドレンとして活躍。次第にここが自分の居場所だと思うようになる。
そんな神斬には親友がいた。天才と謳われていた親友のことを尊敬し、またその才能に嫉妬していた。
自分とは異なり、親友は表舞台で輝く主人公のような人物であった。

しかしその輝かしい友の人生は突然幕を閉じる。
赴いた任務先で親友がジャーム化。
神斬は親友を始末した。

そのとき気づいてしまった、オーヴァードは万能な力ではない。
自分は高尚な人間でもなんでもない、ただの人殺しなのだと。

それ以来「オーヴァードはオーヴァードを殺すための道具である」と考えるようになる。
何故自分はオーヴァードなのか、何故唯一無二の親友を殺さなければならなかったのか。
何故レネゲイドウィルスは存在するのか、人殺しの能力などいらなかった。
オーヴァードの存在意義は何なのかと思い悩むようになる。
そしてオーヴァードを嫌いUGNを離れることとなった。
周囲のオーヴァードからも敬遠され、UGNからの依頼も極力受けないようにしていた。